

令和 5 年 3 月 28 日

裾野市長 村 田 悠 様

裾野市中小企業等振興推進会議

議 長 土 屋 浩 三

裾野市中小企業・小規模企業の振興のための要望書

令和 4 年度裾野市中小企業等振興推進会議では、中小企業及び小規模企業(以下、中小企業等という)の振興を図り、地域経済・地域産業の活性化及び市民生活の向上に寄与するため、裾野市中小企業・小規模企業振興基本条例に基づく会議を4回開催し、中小企業等の置かれた厳しい環境に係る情報の交換や課題の整理を行いました。

中小企業等が抱える課題としては「コロナ禍での資金繰り支援」「事業再構築」「本業の支援」「承継の支援」の4点に集約されることを確認し、また、今後取り組むべき課題としては、カーボンニュートラルやSDGsなどの「グリーン」、DXやIoTなどの「デジタル」、多様な人材確保などの「ダイバーシティ」の3つの取り組みであることを共有しました。

4回にわたる会議の中で協議された意見を基に、中小事業者等の経営力向上と持続的な発展に向けた振興策として4本の大項目、21本の小項目をとりまとめましたので、市の施策に反映していただきたく、以下要望します。

1. 情報受発信力の強化

中小企業者等は、さまざまな情報を入手し参考とすることで事業の成長及び発展に役立てていることを踏まえ、市は各種情報を SNS 等の確な手段により広く発信することを要望します。

- (1)ウーブン・シティに係る積極的な情報提供
- (2)大手企業進出時における積極的な情報提供
- (3)国・県・市における新規事業や制度改正に係る積極的な情報提供
- (4)各種団体や企業から発信される販路拡大等に係る積極的な情報提供
- (5)企業の成長拡大や新規進出に対応できる不動産に係る積極的な情報提供

2. 企業人財の強化(ひとづくり)

企業の成長には優れた人材の確保が必要です。市内には優れた技術をもち、優れた人材を成長させる仕組みを有する中小企業者等が多く存在しています。その上で多くの優れた人材の確保や定着のための積極的な支援を要望します。

- (1)人材育成や能力開発の取組みに向けた支援
- (2)恒常的な人材確保の仕組みづくりに向けた支援
- (3)事業承継を行う中小企業者等に向けた支援
- (4)駿東勤労者福祉サービスセンター(ベネフィ駿東)の活用促進等、福利厚生の実施に向けた支援
- (5)企業説明会や就職面接会等の開催による優れた人材の確保に向けた支援

3. 企業運営の強化(ものづくり)

市内の中小企業者等は優れた人材や技術力を有し、成長発展につながる秀でたアイデアを持っています。その事業を継続するためのアイデアを実現させるための支援として補助金や利子補給など支援の拡充を要望します。

- (1)市が行う工事の発注、物品及び役務の調達に、市内中小企業者等を積極的に採用することによる受注機会増大のための支援の拡充
- (2)資金繰り支援の拡充
- (3)店舗のリフォームや先端設備導入等、設備投資を促す効果的な支援の拡充
- (4)経営革新や創業支援等を促す支援の拡充
- (5)持続可能な発展を促すために SDGsの取組みを促す支援の拡充
- (6)IoT やペーパーレスなどを推進する DX 化への取組みを促す支援の拡充
- (7)ご当地グルメや特産物の開発を支援し、六次産業化を促す支援の拡充

4. 経営環境の拡充(まちづくり)

シティプロモーションに繋がる特徴ある拠点づくりや、定住人口拡大につながる住みやすい環境づくりにより、未来に向けての裾野市の発展につながる施策の拡充を要望します。

- (1)シティプロモーションの拠点となる特徴ある道の駅を早期実現することによる、裾野市を知ってもらうための拠点づくり
- (2)にぎわい創出につなげるため裾野駅および岩波駅周辺への拠点づくり
- (3)ウーブン・シティと連携するなど、その立地を最大限に活用できるまちづくり
- (4)宅地造成や住宅建築資金等を支援する制度を創設することによる定住人口確保に向けたまちづくり